

第1回栗山町ケアラー支援推進協議会

令和5年7月11日（火）

6. 議 題

1) 栗山町ケアラー支援推進計画 令和4年度評価について

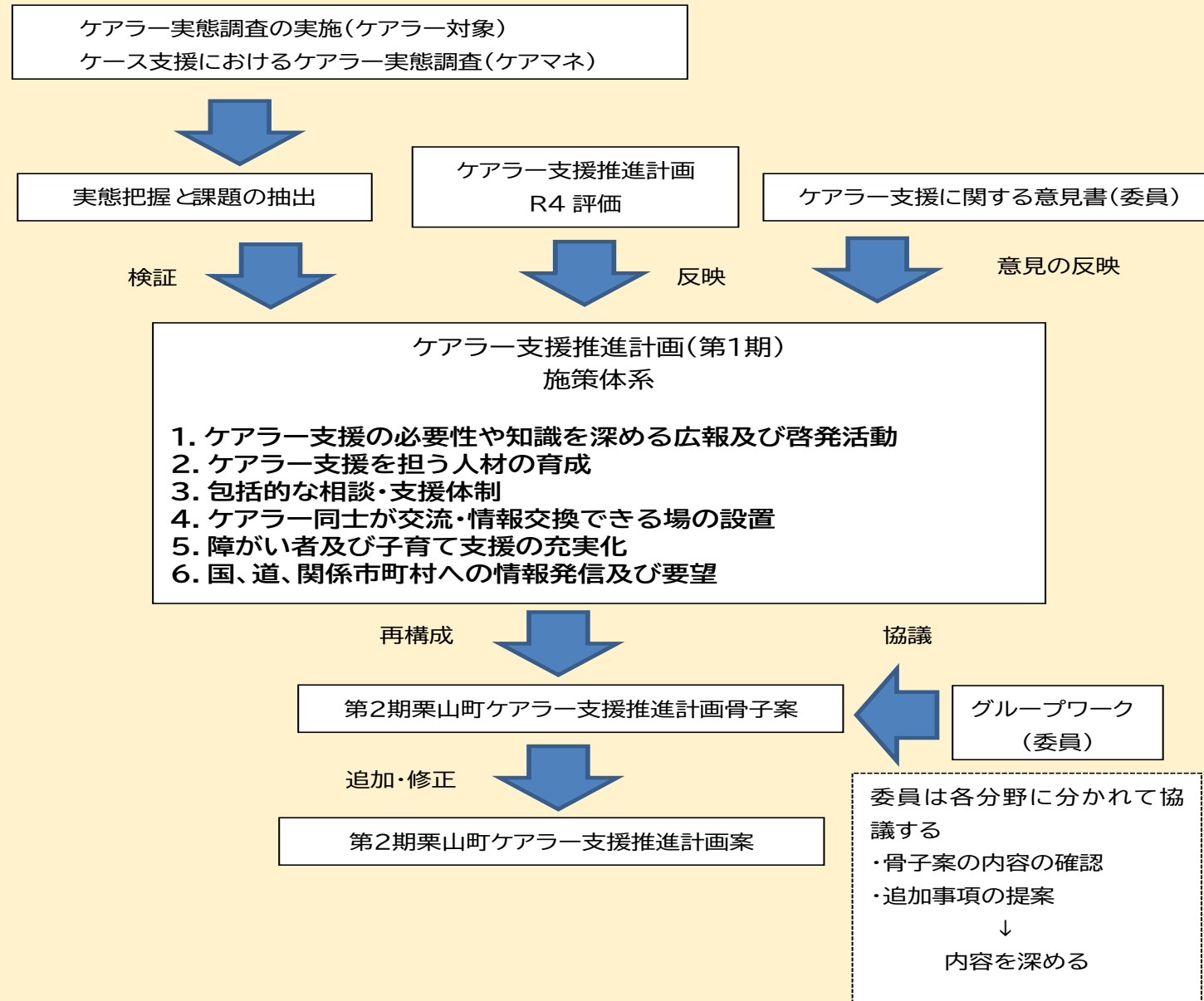
評価方法

- 栗山町ケアラー支援推進計画は、栗山町ケアラー支援条例により**毎年度評価**が定められています。
- 先に皆様から頂いた評価表に記載されていた「**評価**」、「**今後の方向性**」を取りまとめたものは別紙の通りになります。
- 町のホームページで公表予定

2)第2期ケアラー支援推進計画 策定手順

第2期ケアラー支援推進計画の策定手順

第2期計画は、第1期計画のプレッショアアップ(構成を再検討し、完成度を高める)を予定



①ケアラー実態調査(案)

- 第2期ケアラー支援推進計画の計画策定根拠として、ケアラーを主にした実態調査を実施する
- 調査名 「**地域で家族等の介護を行うケアラーの生活に関する調査**」
- 実施時期 7月～8月 調査票配布（関係機関に依頼 600件程度）
 9月 調査票回収
 9月～10月 調査結果集約
- 調査結果は、ケアラー支援推進協議会で公表予定（計画骨子案で提示）

②第2期ケアラー支援推進計画の策定

- 令和5年度が現計画の最終年度に当たり、次期計画策定作業を行う

スケジュール（案）

年 月	予 定
令和5年7月	アンケート案の作成と協議会（第1回）でのケアラー実態調査アンケートの説明
7月～10月	アンケートの実施と集約
10月	協議会（第2回）でのアンケート結果の報告、計画骨子案の作成と計画内容のグループワーク（予定）
11月	計画原案の作成と協議会（第3回）計画原案の説明及び承認
令和6年3月	栗山町議会での承認

3) ヤングケアラー支援の取組みについて

①ヤングケアラーの出前講座の実施

- 目的

ヤングケアラー自身に、その置かれている家庭の状況と己の立場への「気づき」ができる機会を作り、当事者が、支援が必要なことを発信することで、適切にサポートできる環境を整備することを目的とする。

※実態周知と底上げをしていかないと、子どもたちへの理解と支援体制は継続していかないために、具体的な方法を学校側に伝える必要がある。

スケジュール

7月6日 実施要項の作成し、栗山町校長会で提案

※夏休み期間中に2学期での出前講座実施の協議を依頼し、回答を求める。併せて、学校の授業でも取り組んでもらえるように併せて依頼する。

8月以降 各校と個別協議

9月以降 2学期中での授業・出前講座の実施

②令和5年度ケアラー支援講演会(仮)の実施

- 島根大学の宮本恭子教授を招いて、昨年度の家庭教育講演会の内容をステップアップした講演会を実施する。
- テーマは「**ヤングケアラーを支える地域づくりを考える**」(仮)
- 講演会内容は、基調講演とパネルディスカッション
- 開催時期は令和5年9月末頃を予定

③ヤングケアラー実態調査

- 昨年度は、11月に調査を実施。本年度は10月の予定とし、以降、毎年実施する。
- 今年度は、小学生5～6年生、中学高校全学年に加えて、北海道介護福祉学校に広げる
※昨年度、介護福祉学校と意見交換を行った際にヤングケアラー（若者ケアラー）が在学している話もあり、調査協力の申出あり
- 動画視聴と調査を組み合わせ実施する。調査票については、昨年度の内容を踏まえつつ見直しを行う。

7. 報告事項

報告事項

- 1) ケアラーアセスメントの実施について
- 2) ケアマネ事業所向けケアラー実態調査
- 3) 働きながらの「子育て・介護」両立支援セミナー